

令和8年度 八王子市立由木中学校経営計画

校長 小川 博文

1 教育目標

- 1 豊かな心を持ち、優しく強い人
- 2 心身の健康に努め、夢と志を抱く人
- 3 向上心と主体性に富み、共に学ぶ人

2 目指す学校「共に学び、笑顔あふれる学校」

(1) 目指す学校像

- ①一人一人と集団、多様性を大切にする愛情ある学校
- ②健全で安心して過ごせる学校
- ③意欲を高め、知識や学力を定着させる学校
- ④考え、粘り強く取り組む学校
- ⑤家庭・地域、関連機関と力を合わせる学校

(2) 目指す生徒像

- ①自分も自分以外の多様性も大切にする優しい生徒
- ②心身が健康で強く逞しい生徒
- ③向上心と主体性をもって意欲的に切磋琢磨する生徒
- ④自ら考え、粘り強く行動する生徒
- ⑤利他心を持ち、社会や集団の中で進んで行動する生徒

(3) 目指す教職員像

- ①個と集団、多様性を尊重する愛情あふれる教職員
- ②誠実で信頼・尊敬される教職員
- ③やる気にさせる指導力のある教職員
- ④言葉を大切にし、考えさせて正しい行動に導く教職員
- ⑤一人で抱え込まず組織で対応する教職員

(4) 目指す家庭像・地域像

- ①愛情あふれ、子どもが相談できる家庭と地域
- ②健全で活気ある地域
- ③子どもの安全と成長を見守る地域
- ④子どもの幸せを願い、前進し続ける家庭
- ⑤子どもの手本となり、憧れの存在である大人

3 中期(3年程度)的な目標と方策

中期目標1 学力の定着と向上

- (1) 一人一台パソコンを有効に活用し、個の課題とスピードに対応した授業を展開する
- (2) 主体的に学習に向かう態度を向上させる
- (3) コミュニケーション力を向上させる
- (4) (主体的・対話的で深い学びの推進) 友人からも学び、切磋琢磨する
- (5) 学力を定着させ、学んだことをさらに深く探究し、活用する

中期目標2 豊かな心とキャリア形成

- (1) 愛情を育み、心を豊かに大きくする

- (2) 好ましい関係を築けるようにする
- (3) 適切な進路を選択し、その道を歩む
- (4) 一人一人の能力や個性を伸長する

中期目標3 心身の健康と好ましい生活態度の育成

- (1) 健康や体力向上に努めようとする
- (2) 自分の命は自分で守れるようにする
- (3) SNS等を正しく使用できるようにする
- (4) 地域や社会に貢献できるようにする

中期目標4 家庭・地域との連携

- (1) 地域のボランティア活動・自治的活動に参加する
- (2) 主体性のある学校運営協議会、PTAをつくる
- (3) PTAによる保護者研修を進める
- (4) 小・中学校の9年間の連続性を意識した教育を進める。

中期目標5 誇りある教職員と組織的対応

- (1) 専門性を深め、視野を広げ、自分を高める
- (2) (働き方改革の推進) 意識改革し、校務改善を進める
- (3) 個々が自立していて組織的なチームにする
- (4) 地域に愛される学校にする

4 令和8年度 of 取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

目標1 学力の定着と向上

A 学習意欲を引き出すとともに、指導方法の工夫を行い、個々の学力を確実に定着させる。

- ① 【個に応じた学習の推進と学習課題(問題)の工夫】 ② 【学習評価の充実】
- ③ 【意欲・向上心の伸長】 ④ 【学習指導内容の指導徹底と時間の確保】
- ⑤ 【少人数習熟度指導の推進】 ⑥ 【補習と家庭学習】 ⑦ 【授業規律の徹底と学習姿勢の向上】
- ⑧ 【適応、習慣付け】 ⑨ 【学習のまとめりと本時のまとめ】

B 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、言葉を使って考え、コミュニケーション力を高める。

- ① 【フラーリッシュ理論に基づく指導法の工夫と授業改善】 ② 【思考力・表現力の育成】
- ③ 【言語環境、言語活動の充実】

目標2 豊かな心とキャリア形成

A 多様性を尊重し、自分も他者も、生物や自然も大切にできる態度を身に付けさせ、愛情豊かな生徒を育成する。

- ① 【大切にできる態度の育成】 ② 【体験による豊かな心情の育成】 ③ 【特別活動の充実】
- ④ 【探究的な学習の推進】 ⑤ 【学校図書館の活用】 ⑥ 【校内研究の推進】

B 道徳の時間と学級活動を充実させ、心を豊かにし規範意識や人間関係力を身に付ける。

- ① 【道徳教育の推進】 ② 【学級活動の充実】 ③ 【学校行事等の充実】
- ⑤ 【計画的な指導と適切な位置付け】

C 勤労生産体験活動などのキャリア教育やボランティア活動を推進し、社会に貢献できる個人の育成を進める。

- ① 【キャリア教育の推進】 ② 【ボランティア活動の推進】

目標3 心身の健康と好ましい生活態度の育成

A 好ましい関係づくりを進め、いじめの予防と対応を徹底する。節度ある言動を身に付けさせ、みんなと気持ちよく生活できるようにする。

- ① 【いじめの予防と対応】
- ② 【愛情と共通理解に基づいた指導】
- ③ 【個に応じた最適な指導法の選択】
- ④ 【インターネット・ゲーム依存と情報モラル指導】
- ⑤ 【規範意識の育成】
- ⑥ 【礼儀、挨拶、言葉遣い等の定着】
- ⑦ 【人間関係力の育成】
- ⑧ 【主体性の育成】

B 特別支援教育を推進し、一人一人の能力や個性を伸ばしていく。

- ① 【不登校が生じない学校づくりと支援】② 【個別支援の推進】③ 【組織的な特別支援教育の推進】④【共同学習の充実】⑤ 【適正就学の推進】

C 保健体育や食育、保健指導等を通し、健康や体力増進への関心を喚起する。

- ① 【健康・体力増進の推進】 ②【駅伝による体力向上】 ③ 【家庭と連携した生活習慣の確立】
- ④ 【昼食指導】

D 保護者・地域・関係諸機関と連携した安全教育を推進するとともに自分の命は自分で守ろうとする態度を育成する。

- ① 【種々の安全教育の推進】② 【自分の命を自分で守る】
- ③ 【情報ツールの活用】
- ④ 【SNS学校ルールの周知】
- ⑤ 【危険箇所の迅速な対処】

目標4 家庭・地域との連携

A 小・中一貫教育を推進し、児童・生徒が健やかに着実に成長できるようにする。

- ① 【小・中学校の連携】

② 【生徒の小学校等への派遣】

③ 【保護者への啓発】

B 家庭・地域・学校支援機関との連携・協働を推進する。

① 【学校運営及び支援活動への関与】

② 【手本となる大人、相談できる大人】

③ 【地域の活用】

④ 【発信と啓発】

⑤ 【PTAへの啓発依頼】

⑥ 【地域行事等への協力】

目標5 誇りある教職員と組織的対応

A 自他の研修を進め、人材育成とサービスの厳正に努める。

① 【研修の奨励】

② 【自己申告と成果】

③ 【OJTの充実】

④ 【率先垂範、師弟同行】

⑤ 【法規の遵守とサービスの厳正】

⑥ 【予算の有効活用】

⑦ 【業者等との適切な関係】

B 組織的な対応を行い、効果的な教育活動、働き方改革を進める。

① 【主幹教諭を中枢とした学校運営】

② 【考え尽した原案と会議の効率化】

③ 【情報の共有化】

④ 【連絡の徹底】

⑤ 【出張・研修の学校への報告と還元】

⑥ 【学校評価の活用と改善】

⑦ 【週案の記載と提出】

⑧ 【共助と気持ちのよい職場環境の推進】

⑩ 【提出物・回答の期限厳守】

⑫ 【主任や委員長が一人で抱え込まない組織運営】

(2) 重点目標と方策

◆【個に応じた学習の推進と学習課題(問題)の工夫】同一教室内での進捗(深度)の異なる生徒のニーズに応えるべく、レベルに応じた適用問題や学習課題(問題)を複数用意する。「やることがない」生徒を存在させない。さらに指示がなくても自分で課題(問題)を探し出して取り組める生徒を育てる。

◆【指導法の工夫と授業改善】目の前の由木中生に合った指導法・学習方法を工夫する。「楽しさ」「絆」「意義」「熱中」「達成」「強み」を感じられる授業を構想する。効果的な授業方法を他の教員に普及させる。

◆【いじめの予防と対応】学校いじめ防止基本方針に基づき、「いじめは絶対に許さない」という姿勢で全教職員が指導にあたるとともに、「いじめ実態調査」を実施し、いじめが起きない学校づくりに努

める。いじめの兆しが見られたらいじめ対策委員会を設置し、迅速に組織的・継続的に対応する。指導は焦らず、解消まで丁寧に見守る。

- ◆【不登校が生じない学校づくりと支援】不登校等の要因は様々だろうが、学校に來られていない生徒の引きこもり等の社会問題には不安がある。焦りは禁物だが、自立を促すためにも、居場所づくり等の情報を共有し、サポートルームやスクールカウンセラーの積極的な活用や教育相談活動を通して、生徒一人一人の実態に応じた指導の充実を図り、関係諸機関と連携して予防と対応に取り組む。
- ◆【共同学習の充実】人間の多様性を尊重し、障害のある者と障害のない者が共に学び過ごしていける教育を推進する。特別支援学級(知的固定)では、通常の学級との交流及び共同学習を充実させる。